

# I. 教育研修事業 (教育研修分類 2)

## 2. ラダーと連動した継続教育

### 1) 助産師職能委員会実施



# 1) 助産師職能委員会実施

## (1) 新人助産師研修【オンライン研修】

- ①目的：助産基礎教育からの継続教育を行い、臨床助産能力を高め助産師人材教育を行う。
- ②対象者：助産師経験3年目までの助産師
- ③プログラム

日程		時間	主な内容	講師
1日目	7/16 (土)	10:00～16:00	CTG モニター・母体合併症・産科出血	久留米大学医学部 吉里 俊幸
2日目	7/30 (土)	10:00～16:00	新生児のフィジカルアセスメント・愛着形成 乳房管理・授乳	福岡市立こども病院 金城 唯宗 葉っぱ助産院 山田 葉子
3日目	8/20 (土)	10:00～16:00	妊娠期の助産診断とアセスメント 正常分娩の助産診断とアセスメント 分娩介助の実際（演習）	帝京大学 椎葉 三千代 東野産婦人科 原 博美 産業医科大学病院 荒田 友里 愛和病院 田中 啓子 大牟田市立病院 長田 美智子
4日目	9/3 (土)	10:00～16:00	助産の起源・哲学 助産師の役割・助産師の倫理 目標とする助産師像	国際医療福祉大学大学院 佐藤 香代

## ④受講状況 (人)

日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
1日目	40	53	53	51
2日目				51
3日目				51
4日目				49

## ⑤アンケート結果 (%)

理解度 (N=46)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	45.7	54.3	0.0	0.0	0.0

(%)

満足度 (N=46)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	45.7	52.1	2.2	0.0	0.0

(%)

役立ち度 (N=46)	できる	やや できる	あまり できない	できない	未回答
	37.0	56.5	6.5	0.0	0.0

## ⑥まとめ

助産基礎教育からの継続教育と臨床実践能力を高める助産師人材育成を行う目的で新人助産師研修を開催している。新人助産師として必要な専門的知識や技術の習得ができ、他施設の助産師との交流が図れ、新人助産師としてのスキルとモチベーションを高める研修となっており、次年度も開催を継続とする。

## 1) 助産師職能委員会実施

### (2) 院内助産スキルアップ研修【オンライン研修】

- ①目的：1. 多様化、複雑化する社会のニーズに対応し、質の高い助産を提供できる人材を育成する。  
2. 助産師のコア・コンピテンシーをもとに、高い倫理観と専門性に基づく助産が提供できる人材を育成する。  
3. 自らキャリアを開発し、自律した行動がとれる人材を育成する。
- ②目標：1. 知識・技術をブラッシュアップすることができる。  
2. 助産師に求められる役割を再認識し、自施設の改善に向けた新たな提案ができる。  
3. アドバンス助産師に必要なスキルを習得し、自己のキャリア開発に活用することができる。

③対象者：助産師

#### ④プログラム

日程	時間	内容	講師	
1日目	5/15 (日)	10:00～12:00	助産師出向システム ～助産師活用推進事業に係る 実態調査から～	田中産婦人科クリニック 石田 麗子
	13:00～16:10	母子のための地域包括ケアシステム ～切れ目のない母子支援を目指して～	福岡県健康増進課 近藤 くみ子 八女市子育て支援課 鷹尾 智穂 聖マリア病院 二田 佳支子	
2日目	5/29 (日)	10:00～12:00	産後ケア	助産院 mamita (マミータ) 田中 みちえ
	13:00～16:00	プレコンセプションケア	井上善レディースクリニック 松尾 則子	
3日目	6/11 (土)	10:00～16:00	助産師のコア・コンピテンシー / 助産師 のキャリア開発	国際医療福祉大学大学院 佐藤 香代

#### ⑤受講状況 (人)

日数	定員	応募者数	決定者数	受講者数
1日目	40	21	21	20
2日目	40	21	21	20
3日目	40	21	21	20

#### ⑥アンケート結果 (%)

役立ち度 (N=20)	強く思う	思う	あまり 思わない	思わない	未回答
	65.0	30.0	0.0	0.0	5.0

#### ⑦まとめ

院内助産システムを推進し、助産専門職としての役割を社会に発信できる人材を育成することを目的に、院内助産スキルアップ研修（全3日間）を開催している。昨年度に続き今年度も感染対策のため Zoom を活用したリアルタイム型オンライン研修開催となった。

アンケート結果では「自分自身が考えている以上に時代が変化していること、専門職としてブラッシュアップが必要であることを痛感した。また、未来に希望が持てた」などの声が聞かれ、本研修が助産師のキャリア開発の方向づけの機会となった、と考える。